



岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.18
 2024(令和6)年 7月

岡谷市教育委員会生涯学習課
 岡谷市史編さん室 編集・発行
 岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F
 TEL 0266-78-8455

WEBはこちら

覧古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること
 ～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

広報誌などから旧市史<岡谷市史下巻1982(昭和57)年刊行. 編年：昭和20年～昭和53年>以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「水道」です。

西暦	和暦	年月	出来事
1982	昭和 57	4	塩嶺水源施設を国鉄より譲り受け
1983	昭和 58	4	4水道（川岸、湊、岡谷、小井川）の市営水道への完全移管
1985	昭和 60	5	常現寺水源の通水式
1986	昭和 61	3	内山水源が完成
1988	昭和 63	12	水源監視システム整備完了（CATV回線）
1989	平成 1	3	樋沢水源の通水式
1996	平成 8	3	小井川浄水場築造工事が終了
1998	平成 10	3	東堀水源等5水源に高度浄水処理施設を設置
2008	平成 20	5	下諏訪ダムからの取水を断念
2012	平成 24	3	水源監視システム更新（CATV回線からインターネット利用に）
2015	平成 27	3	「岡谷市水道事業基本計画」を策定
2018	平成 30	3	「岡谷市水道事業経営戦略（2018～2027）」を策定
2022	令和 4	3	今井上向配水池が完成
2024	令和 6	7	片間町ポンプ場が完成



樋沢水源
 樋沢水源・東堀水源写真：2024年 市史編さん室撮影

「岡谷市水道事業経営戦略」はこちら

市内給水人口の4割を賄う水を井戸水源から集め、今井上向配水池に送り出す施設
 将来的には同配水池を市内給水人口の約65%を賄う最大拠点とする計画



東堀水源



今井上向配水池

今井上向配水池写真出典：「令和5年度岡谷市上水道の概要」（岡谷市建設水道部水道課）より



片間町ポンプ場

片間町ポンプ場写真：2024年 上空南側から水道課撮影

内山水源

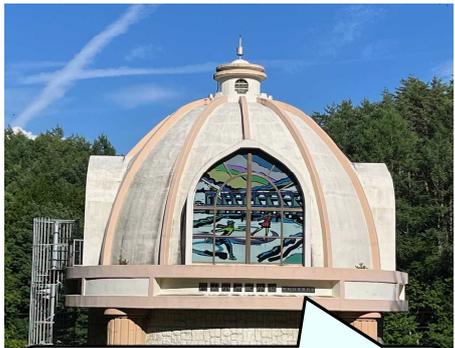
昭和61年3月竣工。中央自動車道長野線岡谷トンネル掘削により滝ノ沢水源完全枯渇による補償



やまびこスケートの森 アイスアリーナ



アイスアリーナ裏側駐車場から見上げると・・・何がデザインされているか分かりますか？



反対側の面です。こちらも岡谷をイメージできるデザインです。

内山水源写真3枚：2024年 市史編さん室撮影

円形ドーム型給水塔の上部4面にはカラフルなステンドグラス

レポート

岡谷市近代化産業遺産『旧岡谷上水道集水溝』

(国登録有形文化財)

大正時代、製糸業が最盛期を迎え、人口増加とともに工業用水や飲料水の需要が拡大し、上下水道建設の要望が高まった。昭和2年塩嶺山麓の滝ノ沢に湧水の集水溝、導入管、受水槽、分水槽が造られた。動力を使わずに山の斜面を利用する構造で、翌3年に「岡谷水道」として給水を開始。その後、長野自動車道岡谷トンネルの掘削工事により枯渇し、昭和63年に岡谷上水道は廃止された。

(引用・参考記事：岡谷蚕糸博物館HP、岡谷市観光協会HP)



集水溝
岡谷上水道
昭和二年九月竣工



地図：2020（令和2）年 岡谷市都市計画基本図 1/2500（部分複写）

集水溝付近には水を好む杉の大木が目立つ

滝ノ沢

「シルク岡谷の近代化産業遺産群」についてはこちらからも



樋沢水源の通水式を伝える新聞記事（一部）

高台に待望の安定給水

樋沢水源通水
三沢やIC周辺うるおう

岡谷市が六十年度に国鉄から買収した樋沢の深井戸が、市内高台への給水水源として整備され、十七日、関係者約四十人が出席し通水式が行われた。これにより川岸三沢の中尾

高尾、これからの土地開発が期待される今井の岡谷インター周辺となり、市内の水需要に大きく貢献することとなる。

樋沢水源の元の深井戸は、国鉄塩嶺トンネルの工事で、当時の国鉄がトンネル掘削による水田の湛水対策として、有事に備え掘ったもの。

これを市が用地約五百平方メートルを千八百万円で購入し、昨年九月から水源築造工事に着手していた。

完成した同水源は事業費約五千万円で、四十一平方メートルのポンプ室が建設され、内部には取水・送水ポンプなど五台が設置、日量二千の水源から千四百リットル取水し、五百リットル離れた樋沢配水池へ送り、これを自然流下で配水する。水源は遠方監視システムで操作

通水を祝う関係者ら

新聞記事出典：『岡谷市民新聞』平成元年3月18日 発行 第1面 株式会社岡谷市民新聞提供

コラム

土蔵の妻飾りに「水（水）」とは？

土蔵のこの円形の部分の装飾は妻飾り・丑鼻（うしばな）などと呼ばれ、「水」・「龍」は火除けのまじないです。龍は雲をよび、雨を降らせることから使われます。土蔵はその家の大切な物を保管する「お蔵（くら）」です。水の神様の力にすがって火災から建物を守る願いが込められています。

妻飾りには文字のほか、家紋や屋号、吉祥文様などが鏝（コテ）絵で描かれることが多いです。職人技の妙を感じながら、妻飾りに着目して街を歩いてみるのもいいですね。



写真5枚：2024年 市内にて 市史編さん室撮影

寶（宝）

小井川浄水場・管理室



小井川浄水場写真2枚
：2024年 市史編さん室撮影



コンピュータ制御と人の目による水質管理で安心・安全な水道を供給

市水道課出前講座「水道水ができるまで」



水道課職員による出前講座
実験装置を使ってわかりやすく解説

水の大切さと水道の仕組みについて
学ぶ子どもたち

写真撮影協力：岡谷市立小井川小学校4学年授業 2024年7月 市史編さん室撮影